

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	大阪大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	オオサカダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F127110107852
	大学等名1(代表大学等) 学校本部所在地	大阪府
	大学等名1(代表大学等) 学校種別	国立大学
	科目名	情報ネットワーク学インターンシップ
	学部・研究科等名	情報科学研究科
	担当教職員名・役職	村田 正幸(その他)・教授
	受講者数実績年度	令和4年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	19
	受入企業等数	25
	受入企業等名	NTT研究所・JFEスチール・GMOインターネット・東芝・パナソニックなど
	産学協議会の整理上の類型	1.令和4年度実績につき分類未適用
	キャリア形成支援活動の分類	7.高学年(大学3年次～4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動 8.博士後期課程学生を対象としたキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	企業などへのインターンシップ活動を通じて、専門分野に関する最新の研究動向や技術動向、基礎専門知識を習得することに加え、研究遂行のための多様なノウハウを対面あるいはオンラインで身につけている。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	3.当該キャリア形成支援活動は、専門教育科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 7.当該キャリア形成支援活動は、授業期間中に実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学院 修士1年 大学院 修士2年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学院 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	シラバスにおいて、研究分野に関する最新動向・技術動向を修得し、研究に活かすこと、職業意識を育成し、職業選択の明確な基準を確立すること、人間性を高め、社会人としての基礎力を身につけることを学習目標として挙げ、発表を含めた所定の課題を課すことで単位認定を行っている。

項目	確認事項	届出内容
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	インターンシップ実施中に、企業ならびに学生からの問い合わせに応じる教職員体制が構築されている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	インターンシップに参加する前に、インターンシップ説明会ならびにビジネスマナー講座を開催するとともに、研究科幹旋型のインターンシップについては幹旋企業による説明会を開催することで、学生が受入企業を事前調査できる機会を設けている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	インターンシップ終了後1カ月以内の報告書提出を課すとともに、就業体験の成果についてインターンシップ報告会を開催している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	インターンシップ実施中に、企業ならびに学生からの問い合わせに応じる教職員体制が構築されている。
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	インターンシップ終了後1カ月以内の報告書提出を課すとともに、授業アンケートを実施している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	90時間以上
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	全体で90時間以上とし、そのうち80時間以上のインターンシップ実習を課すとともに、実習に伴う準備として1日あたり2時間までを実習時間に含めることができる。また、報告書作成や成果発表のために10時間を含めることができる。

項目	確認事項	届出内容
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している
	6-3.上記回答内容に関する詳細	研究科幹旋型のインターンシップに関しては、受入企業による説明会を実施して事前学習を促すとともに、受入企業には活動所見による評価をお願いしている。
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://koan.osaka-u.ac.jp/syllabus_ex/campus	
問い合わせ先	大学等名	大阪大学
	担当部署名	教育・学生支援部学生・キャリア支援課
	担当者役職名	専門職員
	担当者氏名	卯田 健二
	電話番号	06-6850-6115
	メールアドレス	gakusei-sien-career@office.osaka-u.ac.jp